

食育だより

平成30年3月号
栃木市教育委員会
保健給食課

栃木市のホームページに
食育だよりを載せています。
チェックしてみてください。
http://www.city.tochigi.lg.jp/



本年度も栃木市では、表彰やとちぎ江戸料理提供など様々な出来事がありました。本号では、市内の公立小中学校の食や学校給食に関する出来事をご紹介します。

★第11回ウイズガス親子クッキングコンテスト★ ～栃木大会～

平成29年9月17日に東京ガス主催の親子クッキングコンテスト 栃木大会が行われました。応募総数1,385組の中から書類選考で選ばれた8組の親子が自分たちの考えたオリジナル料理を披露しました。栃木の食材を多く使った献立や、食べにくい食材を工夫して調理することで食べやすした献立、ガスならではの献立など、様々な献立が並びました。選出された8組の内6組が栃木市からの参加者でした。その6組についてご紹介します。

①赤津小 飯島さんペア



栃木県大会
優勝

栃木のグルメ食材たっぷり
我が家の絶品ごはん！！

②大宮北小 石田さんペア



成長期スペシャルメニュー
“いきいき栃木っ子”

③栃木第五小 川村さんペア



簡単楽しい
我が家のごはん

④栃木第五小 草野さんペア



栃木県大会
第3位

地元の恵みと発酵食品が
並ぶ我が家の食卓

⑤吹上小 野中さんペア



栃木県大会
準優勝

みんなでワイワイ・
ワクワクごはん

⑥吹上小 日向野さんペア



おばあちゃんの手作りみそを
使ったみそづくし献立

★とちぎ江戸料理を学校給食で提供★



とちぎ江戸料理は、「小江戸とちぎ」として観光まちづくりを進める本市において、新しい名物料理として、市内飲食店等の協力のもと開発しPRしています。

学校給食においても、食に関する指導の一環として、児童生徒が自分たちの住む地域には、昔から伝わる料理や、季節や行事にちなんだ料理があることを知り、食文化や食に関わる歴史等を理解し尊重する心を持つことを目的に「とちぎ江戸料理」を2月に全公立小中学校で提供しました。

～ 献立 ～



赤飯又はごはん
牛乳
モロのにら入り甘酢あんかけ
しもつかれ
鳥の濃漿(こくしょう)

一部の学校では語り部の間中さんに、とちぎ江戸料理やしもつかれ等について語っていただきました。
子ども達は身を乗り出して真剣に耳を傾けていました。
(大平西小の様子) ↓→



給食の時間には、学級担任が、とちぎ江戸料理としもつかれについて読み聞かせをして、給食を食べ、おかわりをして、全部食べ切っていました。

子ども達からは「栃木では昔から食べられている料理と知って、昔の人がうらやましくなった」や「食事の、栃木の始めてを知りました」などの声が聞かれました。(栃木中央小の様子) ↑

★西方中学校・西方小学校給食共同調理場・野尻調理員が 文部科学大臣表彰受賞!!★

平成29年11月9日に鹿児島県にて、「第68回全国学校給食研究協議大会」が開催され、教育活動全体を通しての食育や安全でおいしい学校給食作りが認められて**学校部門【西方中学校】(全国16小中学校)・共同調理場部門【西方小学校給食共同調理場】(全国4調理場)・個人部門【野尻調理員】(全国15名)**が文部科学大臣表彰(学校給食表彰)を受賞しました。県内では栃木市のみ受賞です。写真は鹿児島県での表彰式の様子と、その後市長を表敬訪問した時の様子です。



表彰式
(鹿児島県)
科学大臣表彰 表彰式

↑各学校の校長先生が
学校や調理場を代表して表彰式に出席しました。



市長表敬訪問

西方小学校、西方中学校の児童生徒や栃木中央小学校の野尻調理員が、校長先生と一緒に、市長にその内容を説明しました。

西方中学校の数学で食育の授業を受けた3年大橋吏玖さんは「授業を受けるまではそこまで細かい部分を気にしていなかった。しっかりとした食事をとろうと思った」と報告していました。

★栃木県学校給食優良学校等表彰受賞!!★



↑左から 大平学校給食センター 麻生栄養士
寺尾小学校給食共同調理場 中野校長
栃木中央小学校 伊東栄養教諭



文部科学大臣表彰を受賞した
「西方中学校」の前原給食主任と
高田養護教諭が、実践発表を行いました。

平成29年12月19日に栃木県総合文化センターにて、「第12回栃木県健康教育研究大会」が開催されました。この大会は【心身ともに健康な子どもの育成を目指して直面する課題について研究し、教職員の資質の向上を図るとともに、本県の健康教育を進展させること】を目的としています。

この大会のなかで、**学校給食優良共同調理場に【寺尾小学校給食共同調理場】(県内1調理場)、学校給食功労者に【栃木中央小学校 伊東栄養教諭】、【栃木市大平学校給食センター 麻生栄養士】(県内5名)**がそれぞれ選出されました。

子どもたちへの健康教育の取り組みが認められての受賞です。もちろん市内すべての公立小中学校で、それぞれの学校に合わせた健康教育に取り組んでいます。今後とも努力していきますのでご協力、よろしくお願いいたします。

★小中学生と保護者のアレルギー疾患に関する健康意識調査★

昨年の10月に、獨協医科大学小児科の吉原重美主任教授や和歌山県立医科大学皮膚科久保良美医学博士などの先生方の依頼を受け大宮北小学校、寺尾小学校、吹上小学校、岩舟小学校、都賀中学校の小学1年生～中学3年生の児童生徒1852人とその保護者を対象に調査を行いました。回収率は95.1%で、その結果としては現時点では「妊娠期の母親のストレスや受動喫煙」等とアレルギー疾患の関連がありそうな結果が出ています。今後、詳しい解析をして、分析結果からアレルギー疾患の予防のためのメカニズムの解明に繋げていくということです。その分析結果につきましては、後日お知らせをさせていただきます。

ご協力をいただきました皆様ありがとうございました。